

Kyoto Kanze Regular Performances 28 Sun Apr. 2024 11:00-16:30
Doors open 10:00

京都観世会四月例会

令和6年4月28日(日) 午前11時 開演 (午前10時開場)

〈能〉 EBIRA 箆 樹下千慧	〈狂言〉 KURIYAKI 栗 焼 善竹隆平	〈能〉 YUYA 熊 野 河村晴道	〈能〉 SUMAGENJI 須磨源氏 吉浪壽晃
---------------------------	---------------------------------	----------------------------	----------------------------------



TICKETS

一般前売指定席券(1階) ¥8,500
Advance reserved seat (1st floor)

一般前売自由席券 ¥6,500
Advance non-reserved seat

一般当日券(自由席) ¥7,000
Same-day (Non-reserved seat)

学 生 券(2階自由席) ¥3,000
Student (2nd floor)

※通信講座受講生、放送大学、老人大学は一般料金です。

Noh Play Theater
Kyoto Kanze Kaikan

会場 **京都観世会館**

〒606-8344
京都市左京区岡崎円勝寺町44
(東山仁王門東入)

お問合せ・お申込み

Tel: 075-771-6114
<http://www.kyoto-kanze.jp>
指定席はWEBでご予約できます。

3/1
10:00
発売

チケット販売 English Map



地下鉄東西線「東山駅」①番出口から徒歩約5分
京都市バス「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車
徒歩約3分
「東山仁王門」下車徒歩約5分
東隣に有料駐車場(約20台)がございます。

京都観世会四月例会

梶原源太景季 男樹下千慧

〔能〕
 旅僧岡 充 大鼓谷口正壽
 小鼓林 大和 笛杉 信太郎

間 生田ノ里人小西玲央

栗焼

〔狂言〕
 太郎冠者善竹隆平 主善竹隆司

休憩二十分

(一時頃)

朝顔河村浩太郎
 熊野河村晴道
 村雨留

〔能〕
 平宗盛 福王茂十郎 大鼓山本哲也
 従者 喜多雅人 小鼓清水皓祐
 笛竹市 学

休憩十五分

〔仕舞〕
 花 月キリ 浦田保親
 善 界 大江広祐

(三時過)

光源氏 吉浪壽晃
 須磨源氏

〔能〕
 従者 原 陸 大鼓河村裕一郎
 藤原興範 有松遼一 小鼓吉阪一郎
 従者 岡 充 笛左鴻泰弘

間 須磨浦ノ里人善竹隆司

附祝言

(終了予定 四時半頃)

後見・地謡

〔後見〕 田茂井廣道 寺澤拓海 橋本光史
 〔地謡〕 宮本茂樹 味方 玄
 林 宗一郎 橋本忠樹 河村晴久
 吉田篤史 分林道治

〔後見〕 上吉川 徹

〔後見〕 大江信行 谷 弘之助 片山伸吾
 〔地謡〕 大江又三郎 深野貴彦 片山九郎右衛門
 浦部幸裕 古橋正邦

〔地謡〕 浅井風矢 橋本儀道 浦田保浩 吉田潔司

〔後見〕 橋本擴三郎 井上裕之真 味方 團
 〔地謡〕 井上裕久 河村和貴 浦田保親
 梅田嘉宏 杉浦豊彦
 松野浩行 越賀隆之

解説

〔能〕 春、西国方より都へ上る僧が、津の国生田川に着くと、有為転変を歎き生死の道に迷う風情の男と行き会う。僧は目前の梅について尋ねると、男は「熊の梅」であると答え、その謂れを語る。即ち、この生田での源平の合戦において、源氏の武将梶原源太景季は、色鮮やかな梅花を一枝折って簾に挿して戦ったところ、この花が笠印となり、名を揚げた。彼はこれを喜び、この梅を八幡の神木として敬した。以来名将の古跡の花として、熊の梅と言われるようになったのだ。男は更に、生田、一の谷、須磨の浦での源平の合戦の様子を委しく語り、実は自分は景季の幽霊であると明かし、梅の木の下に消える。

〔中入〕 所の者より景季の物語を聞いた僧が、梅花の木蔭に伏して待つと、夢中に景季の霊が現れ、修羅道の苦しみを見せる。彼は僧とみえを喜び、法味を得ようとすが、また返りは修羅道の苦と化す。そして熊の梅を挿し、雅びた若武者の姿での奮戦ぶりを再現し、夜明けとともに夢と消えていった。

し東の花や散るらん」と、一首の歌を短冊にしたためて宗盛に差し出す。宗盛はさすがに哀れを感じて帰ることを許し、熊野は喜んでその場から故郷へと急ぎ出立するのであった。

日向の国の宮崎の社官藤原興範は、伊勢参宮を志し、浦々を長閑に旅し、摂津国須磨の浦に着く。樵の老人が桜を眺めているので、この花は故ある木かと尋ねると、老人はこれこそ名に負う若木の桜だと答える。興範に請われるままに老人は光源氏の生涯を語り、自分こそは「源氏物語」の主人公であるというや雲に隠れる。興範が夜すがら奇特を待っていると、妙な音楽が聞こえ、月の光輝く須磨の浦に光源氏の霊が天下つて、青海波を舞い、夜明けとともに消えるのだった。

お客様へお願い

- ◆都合により出演者に変更がある場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ◆許可なき写真撮影・録音・録画はお断りいたします。
- ◆上演中は、携帯電話など音や光を発する機器の電源はお切りください。
- ◆見所・客席での飲食はご遠慮ください。
- ◆東隣に有料駐車場がございます。満車の際は岡崎公園市営地下駐車場をご利用ください。

【表紙写真】

〔能〕河村和貴
 金の星渡写真真場撮影

次回予告

京都観世会五月例会
 令和6年5月26日(日)
 午前11時開演

〔能〕 自然居士 片山 伸吾
 忍辱之舞
 〔狂言〕 富士松 小笠原 由禰
 〔能〕 半菰 大江 又三郎
 〔能〕 天鼓 橋本 光史
 弄鼓之舞

【お知らせ】
 今後の状況の変化により、当日券販売の有無や催し物の内容変更となる場合がございます。あらかじめご了承ください。
 「字幕解説サービス」専用端末は千円(税込)にて貸出いたします。